

なり。

之れを要するに兩科の科釋本經の上に於ては一は正一は傍と分つべからずと雖も、像法の時、迹化の導師は總正別傍、末法の時、本化の導師は別正總傍而も此の兩種の傍俱に佛の本意なり。蓋し迹化本化同じく佛囑に依ればなり。驗め知ぬ、兩科の釋に於て傍正各々異なるものは導師二本化迹化の別あり、時に像末の別あり、付囑に總別の異なるに依る事とを、以上台當二家に於ける依經科釋の傍正に付て、像末兩導師の立脚地を辯明せり。

無宗教者を如何にして

導くべきか

黑 數 學 勇

或無宗教の老人あり予は此れに對して問はんあなたはなせ宗教を信じないのですかと老人答へらく私は別に學問と云ふてはありません然し人間の道を正直に守り行つて居りますから特に宗教とか佛の教とか

を信する必要はないと思ひますと斯る人に向つて斯く云はんと欲すあなたの仰せは一應御尤もですなれども顧つて考へて見ますと失禮な云ひぶんではありますがおあなたは未だ宗教と云ふ事を御存じないのです何となれば現に今あなたの云はれたやうに五倫五常の道を踐んで即ち人間の道を守つて行くところ既に宗教の一分に御入りなされて居るのではないかと存じます何んなれば其五倫五常の道も矢張宗教を離れては居らぬですつまり我々から云ふと宗教の一部分から割出されて居ると云ふても差問題ないので然し斯様な事は世間一般云ふ所の道ですから宗教から離れて居ると思はれるも御無理はありませんですから宗教に依らずともよいと思はれるも當然の事です其れでは猶ほ重ねて御尋ね致しますがあなたは最愛の子とか又は妻とかが一朝病氣に罹るとか或は今度の如き戦争に際して愛子が出征して今や青島の浦に於て獨逸兵と命のとりやりをして居るとか自分又は自分に親しい者が不時の災に遭遇して九死一生の場合に臨んでどんな心が起きますか病氣に罹れば死ぬるはきまつて居る戦争に行つて鐵飽丸に中はば

死ぬるは當然だと云ふて居れますかよもや其やうな心にはなれますまい何卒助けて下さい救ふて下さいと自分より上の方の何物かに御願ひする氣になるでせう若しならなければ犬猫同然です普通の人間なら是非思ふのです其御願ひする心が宗教の中の何物かに向つて御願ひして居るのですがあなたは宗教と云ふ事を御承知でないから分らないのです失敬ですが其やうな御心持では無理な我慾の爲とか或は他人に對して羨を懷くとかして一生の間一日として眞に面白く日を送る事は出来兼ねるだらうと思はれますでございますから少し宗教と云ふ事を考へ其宗教の中でも此法華經と云ふ御宗旨を信じて御覽なさい不時の災難にかゝると云ふ事もなく又かゝつても決して悲む事もなく愉快に一生を終る事が出来るのです故に我宗祖日蓮聖人は娑婆即寂光と申されまして御互に住んで居る此世がとりもなほさず其儘極樂淨土であるを仰せられたのです其れに此世の中は因があれば果がある善因善果惡因惡果と云ふ事は疾くに御承知なのでせう其れ故に此法華經を信じて佛様の御利益を蒙つて一生安らかに日を送るのが御互第一の

得策であらうと存じます此れ丈で合點が參りましたか參りませんか未だ合點が參りますまいそれは其筈ですあなたは人間御互の一番大切な死ぬると云ふ事を御存じないからです我々は此世の中に生れて一度は是非死ななければならぬのです其死と云ふ事が最も大事なのです此の世の中に生を受けて面白いとか苦しいとか楽しいとかまづいとか云ふて居るのはわづか五十年か長くて七八十年間の事です其れよりも此世で充分信心をして其御利益に依て未來永劫の間極樂淨土の樂みと云ふ事に氣を付けねば折角此世に生れ乍ら何をしに生れたのか少しも人間と云ふ價値がないない許りが實際犬死になるではありませんか此様に申しますとあなたは私は死んで終まへば靈魂は如何なつてもよろしい又此肉体は山へでも川へでも何處へでも棄てるとか埋めるとか御勝手にするがよい私は唯だ此世丈け安穩に行けばよい又未來があるにしても此世で正直に道を行つて居つた者をまさか佛や神は地獄へ落すと云ふ事はあるまいと斯様に申されるかも知れませんが其れは先程御話した通り人間と云ふ者を安く見て居られるからです人間

は其様に安價の者ではなく最も價値のある貴い者で修行さへすれば此身此心が佛様と同等な立派な者となられるのであります又人間と云ふ者は決して此世限りのものではありません此世界の有らん限りは盡きないのです何んとなればあなたの此身及び此心は都て此世界と離れた者ではないのです此世界の全体はあなたの御身体及び御心あなたの御心御身は世界の全体と云ふ難有結構なのですそして生れ替り死に替り決して盡きるものではありません若し靈魂もなく未來も無いと申されるなら御釋迦様も長年の間御苦勞遊ばしたり恐れ多くも 一天萬乗の君様が先帝御代々の御神靈を祭りて未來の御追善を遊ばす必要も無きかのやうに存じます斯様なちかき一例でも未來と云ふものゝある事は御承知になつた事と思ひます其上今あなたの云はれたやうに此世で善行をしたのであるから未來は地獄へ落ちぬと申されたのも結構な事でありますが喩へて申しますと世間に用ゆる刀劍類でも充分鍛へた程鋭く切れるやうに我々も同じ事で充分信心した程益善い處へ行く事が出来るのです其故に人間の道と云ふ事人間として行ふのに別に

珍らしい事ではありませんからして其より以上に最も佛様に近い所の信心をして行かねばならのです先程も話しましたやうに御互の此身は修行さへすれば御釋迦様と少しも變らぬ立派なものに成られるのでありますから是非とも此宗教に入り宗教の中でも法華經を充分信心して此身のさびを落して立派な上にも立派にみがき上げて此世では娑婆即寂光と云ふ清い心で過ぎ斷末魔の苦みもなく成佛を遂げて未來では御釋迦様や日蓮聖人と共に極樂淨土に參り常樂我淨の風にそよめきて未來永劫娛樂快樂の樂を受け再び此世に生れて來たら十善完備皇帝王位を占るやうに心掛けねばならのであります其故に吾祖日蓮聖人は世の中のものうからん時も今生苦さへかなしく況んや來世の苦をやと思食ても南無妙法蓮華經と唱へ悦ばしからん時も今生の悦は夢の中の夢靈山淨土の悦びこそ實の悦なれと思召し合せて又南無妙法蓮華經と退轉なく修行し最後臨終の時を待て御覽せよ妙覺の山に走り登りて四方をきつと見るならばあら面白や法界寂光土にして瑠璃を以て地とし中略娛樂快樂し給ふぞや我等も其數に列りて遊戲し樂むべ

仰ぐ而耳。

宗祖折伏の第一義

溝田 玄靜

佛にも神にも人はなるものを

なごあだにもつ己が心を

と云ふ歌がある、此の歌は修養と云ふ事を意味しては居ないかと思ふ、何となれば、世間に聖人或は賢人と云はれる人も、自ら斯くの如き位置品格が備はるものではない、只一の修養に起因するのである。生等とても充分の修養を致さば、其人になれない事は無からうと思ふ。然れば生等は如何なる事を爲さば其人に成れるか、又佛世尊に讃歎せらるゝであらうか、所謂宗祖の仰せになつた但信口唱の修行である。

きことはや近づけり信心弱くしてはかゝる目出度所に行くべからず」と斯様に懇ろに御示し下されて居るのですから邪念を起して未來が無いの信心は無用なぞと思はずして御互幸にして此宗教の弘まる時加之値ひ難き法華經を持てる結構な此世の中に生れ合して居るのですから此時を失はずして法華經を修行して煩しい心の塵を拂つて淨らかな佛様のやうな心となつて現世は安らかに未來は靈山淨土に參るべく心掛けるが一番肝要であらうと思ひます猶御不審の事がありましたら幾度でも合点の參る迄御話し申しますからともどもに信心を勵みませう斯様に申しますと信心と云ふ事が非常に難しいやうに思はれるかも知れませんが決して難いものではありません極く容易に出来るのですつまり今迄あなたがなし來つた仕事を一心に勉め其正直な御心を守つて其上南無妙法蓮華經と云ふ事を忘れずに心にしみこませて何時も不斷に唱へさへすれば自然と御身御心が其儘題目を唱へて修行することになりて一日々々佛様のやうに清らかになるのですから怠りなく信心をなさるやう御すゝめ致します聊か愚感を述べて識者の教示を

所謂五品之初二三品ニ佛正しく制止戒定ノ二法ニ一向ニ限リ慧ノ一分ニ慧又不レ堪エ以テ信ヲ代ヘ慧ニ信ノ一字ヲ爲レテ詮ト不信ハ一闡提謗法ノ因信ニ慧ノ因名字即ノ